

社会教育委員会議（平成30年度第2回定例会） 次第

平成31年3月19日 10時00分～
飯田市役所 A301・302 会議室

1 開 会 北澤生涯学習・スポーツ課長

2 あいさつ 代田教育長

3 報告・協議事項 進行…中島座長

(1) 社会教育関係各課・館・所の平成30年度及び平成31年度の事業について …資料1

(2) 社会教育委員の活動についての意見交換・情報提供

(3) 2019年度飯伊地区社会教育委員連絡会議総会・研修会について …資料2

(4) その他

4 各課・館・所からの連絡事項等について

進行…生涯学習・スポーツ課長

5 来年度の日程 (予定)

期 日	会議名	場 所
5月 9日 (木)	飯伊理事会 (正副座長)	飯田合庁
6月 19日 (水)	県連絡協議会総会	総合教育センター
6月 28日 (金) *予定	飯伊総会・研修会	飯田市当番
	社会教育委員会議 (臨時会)	必要に応じて
9月 19日 (木)	県社会教育研究大会	総合教育センター
10月 24日 (木) ~ 25日 (金)	全国社会教育研究大会	兵庫県
11月 7日 (木) ~ 8日 (金)	関東甲信越静社会教育研究大会	埼玉県
12月 2日 (月)	飯伊理事会	飯田合庁
3月中旬	社会教育委員会議 (第2回定例会)	

◎県理事会 (会長)

5月 21日 (火)	理事会①	長野県庁
6月 19日 (水)	理事会②	総合教育センター (県総会の前段)
7月 19日 (金)	理事会③	長野県庁
11月 22日 (金)	理事会④	長野県庁
2月 7日 (金)	理事会⑤	長野県庁

6 その他

7 閉会

*終了後、社会教育委員研究会 (社会教育委員による自主研究)

課等の名称〔生涯学習・スポーツ課〕

【平成30年度の方針】			
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育活動を通じた地域の担い手・支え手の育成と地育力の維持・向上 ・「LG(地域・地球)飯田教育」の実践と課題研究 ・子どもの体力、運動能力の向上と、成人の運動習慣の定着 ・恒川遺跡群保存活用事業・飯田古墳群保存活用事業の推進 			
No.	事業名	H30年度の実施状況	H31年度に向けた計画・特記事項
1	科学実験教室推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろ科学工房スタッフによる理科実験ミュージアムを毎週末(第2・4土除く)11月まで開催。【47回実施】 ・おもしろ科学工房スタッフによる出前工房、学校クラブ活動支援、科学実験教室を実施。今年度は、伊勢市との交流会、飯田やまびこマーチにおいても実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろ科学工房スタッフによる理科実験ミュージアムを毎週末(第2・4土除く)11月に開催。 ・おもしろ科学工房スタッフによる出前工房、学校クラブ活動支援、科学実験教室を実施。宇宙教育との連携。
2	人権学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館人権学習講座への支援。 ・人権教育連絡協議会、長野県同和教育研究大会等の会議・研修会へ参加。 ・飯田市人権尊重審議会の会議参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館人権学習講座への支援。 ・人権教育連絡協議会、長野県同和教育研究大会等の会議・研修会へ参加。 ・人権ネットワーク事業を男女共同参画課と共に実施する。 ・飯田市人権教育推進協議会を開催予定。
3	平和学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平和祈念館資料室の開館(奇数月の第1日曜及び要望のあった日)。 ・毎月第3水曜日に平和資料収集委員会PJを開催。 ・学校への支援(講師謝礼助成:緑ヶ丘・高陵、満蒙開拓平和記念館入館料助成:緑ヶ丘・高陵・旭ヶ丘・竜東・龍江、満蒙開拓記念館移動用マイクロバスの派遣:竜東・龍江) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和祈念館資料室の開館(奇数月の第1日曜及び要望のあった日)。 ・月に1度、平和資料収集委員会PJを開催し、寄贈資料の調査や資料室の展示内容の検討を行う。 ・学校への支援(講師謝礼助成、満蒙開拓平和記念館入館料助成、満蒙開拓記念館移動用マイクロバスの派遣)を継続及び一部拡充するとともに、学校と協働し、平和と人権を含めた学習プログラムの検討を行う。
4	家庭教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3日曜日を「結いの日」に設定し、飯田FM及び飯田ケーブルテレビを通じて啓発放送を行った。 ・市内保育園・認定こども園、小中学校等を通じ、啓発のリーフレットを配布した(14,000部)。 ・ポスター・三行詩コンクールの選考を10月に行った。2月の推進月間には入賞作品の巡回展示を行い、啓発チラシ等に作品を掲載した。ポスターは関係機関にて配布・掲示を行った(200枚)。 ・11月の推進月間には飯田市広報かざこし歳時記で結いタイムについて放送した。 ・わが家の結いタイム推進協議会会議を開催(10/17)し、家庭教育の啓発・推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3日曜日を「結いの日」に設定し、飯田FM及び飯田ケーブルテレビを通じて啓発放送を行う。 ・市内保育園・認定こども園、小中学校等を通じ、啓発のリーフレットを配布する(13,000部)。 ・ポスター・三行詩コンクールを実施予定。入賞作品はポスター、啓発チラシ等に掲載する。また、各地区の公共施設にて巡回展示を実施予定。 ・わが家の結いタイム推進協議会会議の開催、PTA担当者会への協力依頼によって、家庭教育の啓発・推進を図る。
5	地育力向上連携システム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育コーディネーターを配置し、小中学校のキャリア教育年間指導計画の策定支援、及び小中学校が行う「LG(地域・地球)飯田こども未来事業」の計画支援を行った。 ・教育委員会情報誌「Hagu」を発行。(年3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育コーディネーターを引き続き配置し、小中学校のキャリア教育やLG(地域・地球)飯田教育の支援を行っていく。 ・情報誌「Hagu」を発行予定。

6	キャリア教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内9中学校の職場体験のための受け入れ職場のコーディネートを行い、264事業所で実施。 ・キャリア教育推進協議会2回、キャリア教育研究委員会4回開催。 ・各校キャリア教育担当職員を対象にキャリア教育研修会を開催。 ・各中学校代表生徒による「結いジュニアリーダー育成講座」を開催。(全6回) ・キャリア教育推進フォーラムを1月27日(日)鼎文化センターで実施予定であったが、インフルエンザの流行のため中止。ジュニアリーダーの活動のまとめとして3月23日(土)市長報告会を開催。 ・キャリア教育の番組等を制作し啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内9中学校の福祉・職場体験学習のための受け入れ職場のコーディネート。 ・キャリア教育推進協議会、キャリア教育研究委員会の開催。 ・各校キャリア教育担当職員を対象にキャリア教育研修会の開催。 ・各中学校代表生徒による「結いジュニアリーダー育成講座」を開催。(全6回) ・キャリア教育推進フォーラムを1月19日(土)鼎文化センターで開催予定。
7	LG(地域・地球)飯田こども未来事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域について学ぶふろさと学習にグローバルな視点を取り入れたLG飯田教育を市内小中学校全28校において実施。 ・宿泊を伴う体験活動にグローバルな視点を取り入れたLG飯田教育を市内小学校7校、中学校1校において実施。又、市内全小学校4～6年生児童を対象に夏休み農業宿泊体験を実施。 ・学校教職員を対象とした結いキャリアアップ体験講座を実施。 ・上記事業に関して、事業計画作成の支援、移動手段の手配、交付金の支出等によって各校に即した支援を行う。 ・教頭会プロジェクトチームにおいて、各校の取組について一覧表を作成し全校へ配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域について学ぶふろさと学習にグローバルな視点を取り入れたLG飯田教育を市内小中学校全28校において実施。事業計画作成の支援、移動手段の手配、交付金の支出等によって各校に即した支援を行う。 ・宿泊を伴う体験活動にグローバルな視点を取り入れたLG飯田教育を市内小学校6校、中学校1校において実施。活動準備の支援、移動手段の手配、交付金の支出等によって各校に即した支援を行う。又、市内全小学校4～6年生児童を対象に夏休み農業宿泊体験を実施。 ・学校教職員を対象とした結いキャリアアップ体験講座を実施。
8	宇宙教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・3回目となる「宇宙留学サマーキャンプ2018」を飯田市遠山郷において8月12日(日)～13日(月)の1泊2日で開催。また、事前学習会を7月21日(土)に開催。 ・参加者は市内小学5・6年生10名。 ・今回は、ペルセウス座流星群に焦点をあて、地域の専門家による社会教育団体である「飯田御月見天文同好会」及び美術博物館研究員による専門性の高い指導により、深い学びを重視した学習プログラムを実施した。 ・実物を見て体験することで、机上では味わえない感動や驚嘆、自然の驚異や課題を知ることができ、ホンモノを経験することができた。また地域で活躍する大人に接し、自身の将来について具体的に考えるきっかけとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「飯田・宇宙教育」について、次のステップである「知見のネットワーク化」へ移行する。 ・美術博物館と連携し、既存団体や天文分野に興味を持つ人材を集めつながりを作る。 ・引き続き美術博物館や工業課、社会教育関係団体である南信州飯田おもしろ科学工房や飯田御月見天文同好会など、宇宙関連の教育に取り組む団体と協力を図り、組織横断的に通年実施していることを、「スタンプラリー」等によりPRし、宇宙教育への関心を更に高めていく。
9	公民館等耐震化整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月に、旧上郷公民館及び自治振興センターについて解体工事完了、その後本体建築工事に着手。 ・上郷地域まちづくり拠点施設建設委員会と必要事項について調整を実施。 ・会議室等の名称や料金について、地域協議会へ諮問し、平成30年市議会第4回定例会において議決。 ・設計、監理、施工の請負業者と毎週定例会議を開催。 ・駐車場用地取得を進めた。 ・本体建築工事については平成31年3月29日に竣工。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上郷公民館・自治振興センター新施設については、4月1日から供用を開始。 ・駐車場拡幅及び周辺道路改良工事を実施。

10	青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会の開催(6/27)。青少年を取巻く環境について、飯田警察署生活安全課からの報告と、各地区等で行われた青少年健全育成に関わる取組、子どもを性被害から守るために条例について報告を行った。また平成30年度 飯田市青少年健全育成基本方針の検討を行い、今年度「青少年に対する深夜外出の制限及び関係団体と連携した啓発活動」と「ネットトラブルの予防」を重点取組とした。 ・伊勢市との小学生交流会の実施(8/7～8/8)。今年度は飯田市で開催し、丸山小、浜井場小、追手町小、千代小、千栄小、上久堅小の児童のうち24名が参加した。飯田ならではの体験(おもしろ科学実験、りんごん踊り体験、五平餅作り体験など)の他、学校や地域での活動を相互に紹介し合い、活動の視野を広げた。第44回飯田子どもまつりを開催し、火おこし体験や竹とんぼ作りを行い、普段体験できない体験を子どもにしてもらうことができた(4/22)。 また、遊びの教室を開催し、ネイチャーゲームを行う予定(3/16)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会の開催。 ・伊勢市との小学生交流会の実施(8/1～8/2) ※伊勢市を会場に実施 ・第45回飯田子どもまつりの開催(4/21)。
11	青少年育成センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回青少年育成推進委員会議を開催(6/12)し、今年度の活動について確認した。 ・富士山稲荷の祭り巡回は台風により中止。 ・7月にPTAと連携して市内店舗の巡回活動及び青少年健全育成への協力依頼を実施。また11月の子ども・若者支援強調月間に併せ、市内のコンビニエンスストアの巡回活動及び「協力依頼を実施。 ・その他、県主催事業への参加。 ・19市青少年補導センター所長会への出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進委員会議の開催。 ・巡回活動の実施。 ・県主催事業への参加。 ・19市青少年補導センター所長会への出席。
12	スポーツ推進委員活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・11月25日(日)に、囲碁ボール交流会、大なわとび記録会、ニュースポーツ体験会を開催した。 ・サンスポーツ駒ヶ根で実施している障がい者とのスポーツ普及事業に参加協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月10日(日)にニュースポーツフェスティバルを開催予定。 ・委員改選期であり、新任委員を中心に研修等を行う。 ・サンスポーツ駒ヶ根と協力し、障がい者とのスポーツ普及を行う。
13	スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・4月28日(土)に開催された県市町村対抗駅伝競走大会において、飯田市チームは、一般の部、小学生の部ともに4位の好成績をおさめた。 ・中央道沿線都市親善スポーツ大会を7～10月に11競技開催した(早起き野球は雨天中止)。 ・11月17～18日に開催された県縦断駅伝競走大会において、飯田下伊那チームは、総合4位の好成績をおさめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月27日(土)に開催される県市町村対抗駅伝競走大会に、飯田市チームが出場予定(一般、小学生)。 ・中央道沿線都市親善スポーツ大会を7～10月に11競技開催予定。 ・11月16～17日に開催される県縦断駅伝競走大会に飯田下伊那チームが出場予定。
14	生涯スポーツ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・6月17日(日)コオーディネーショントレーニングを学ぶ会を開催し、指導者の育成及び親子運動教室を行った。 ・幼少期からの運動能力向上のため、保育園へコオーディネーショントレーニング指導者を派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コオーディネーショントレーニング指導者講習会を開催し、トレーニングの普及と指導者の育成を行う。 ・スポーツ推進委員の研修を行う。
15	60歳以上ソフトボール大会開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第34回大会を9月22～23日に開催(22日は雨天中止)し、59チーム、1,275人の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第35回大会を、9月21～22日に開催予定。

16	やまびこマーチ開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第32回大会を、4月28～29日に開催し、延べ4,617人の参加があった。 ・高校生ボランティアによる風越コースのコースガイドを行った。 ・PTAコースに1,700人を越える参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第33回大会を4月27～28日に開催予定。 ・参加記念バッジデザインを高校生から公募した。 ・大平コースの定員を20人増員した。
17	飯田市体育協会運営支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・6月16日(土)に、健康体力増進・予防救急事業を行った。 ・9月30日(日)、12月15日(土)に競技力向上事業を行った。 ・12月2日(日)に普及啓発活動事業を行った。 ・ゲストに飯田市産業親善大使の小沢あきこさんを迎えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上事業(開催日未定)、健康体力増進事業(開催日未定)、7月～10月に中央道沿線都市親善スポーツ大会を飯田市体育協会と飯田市教育委員会が協働して開催予定。 ・ゲストに産業親善大使のニッチロー'さんを迎える予定。
18	風越登山マラソン大会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第64回大会を10月28日(日)に開催し、473人の参加があった。 ・風越山開山1300年記念として、参加者に記念品の贈呈、美術博物館との共同事業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第65回大会を10月27日(日)に開催予定。 ・ICタグによる計測を利用した、チーム対抗戦の充実を図る。
19	ウォーキング普及推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングの習慣化に向けて、各公民館やウォーキング団体とタイアップして、「月いちウォーキング」を毎月1回開催している。 ・スポーツ推進委員のウォーキング指導の実践機会として、「月いちウォーキング」の講師を担当してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「月いちウォーキング」を毎月1回開催予定。公民館やウォーキング団体との連携により実施する。 ・スポーツ推進委員の指導実践機会として、ウォーキングの指導やウォーキング事業運営などに主体的に関わってもらう。
20	体育施設維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設46施設の維持管理業務を実施した。 ・市のスポーツ施設のあり方について検討を進めた。 ・飯田市営市民プールと飯田運動公園プール(通称:アクアパークIIDA)の指定管理制度の見直しを行い新たに指定管理期間が5年に延長され改めて運用が開始となった。 ・平成30年度から指定管理制度導入により総合運動場と隣接する勤労者体育センターと勤労青少年ホームを一体化した管理が開始され、施設の有効活用と利用者のサービス向上等を図るよう監督指導等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・44施設が常に安全快適にで利用できるよう維持管理を行い、指定管理制度の導入で利用者の利便性や安全性の向上、管理運営の効率化を図る。
21	体育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設46施設の整備改修を実施した。 ・トイレリメイク事業として上郷体育館女子トイレの洋式化を実施し男女とも完了となった。安心安全で快適な環境を整えるよう施設整備を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連合が検討するアリーナ機能の検討に対応し、今後のスポーツ施設のあり方について方針決定するよう進める。 ・飯田市総合運動場の陸上競技第2種公認競技場の継続のため、基準に沿って整備を進める。 ・社会体育施設の改修、備品の修繕、設置等を実施。 ・主要な体育施設にある和式トイレの洋式化(トイレリメイク事業)を順次進める。
22	社会体育学校開放事業	<ul style="list-style-type: none"> ・管理に関する委託業務を提携し年間を通して学校体育施設が良好な環境で維持できるよう管理を実施した。 ・伊賀良地区学校開放運営委員会と松尾地区学校運営委員会を定期的に開催し、限られた施設が有効に利用されるようまた、施設を利用するにあたり問題等を解決するため検討会議を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興のため安全で良好な環境で学校体育施設が利用できるよう施設を管理・維持する。 ・地域の学校体育施設を地域に開放するための経費でモップリース代、電気代、消耗品など学校体育施設を地域に開放するためのコストを負担する。また学校開放運営委員会を組織して、定期的な会議を開催し利用調整と施設の適正管理を図る。
23	社会体育学校開放施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・下久堅小学校へ柔道畳運搬車の増設をはじめ、スポーツ器具・防球ネット・照明器具・ガラス扉の破損等小規模な修繕を実施し、良好な整備環境を維持した。 ・上久堅小学校グラウンドの防球ネットが台風による被害を受け修繕対応を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興のため安全で良好な環境で社会体育の利用に支障がでないよう施設の良好な維持管理をする。 ・学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲で、社会体育の利用のために市民に開放し、スポーツの振興を図り照明機器等の整備を行い施設の充実を図る。

24	文化財資産化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財審議委員会を3回(6、11、3月)開催し、「中郷流宮岩」、「中央構造線程野露頭」を飯田市天然記念物に、菱田春草筆「鎌倉時代闘牛の図」を飯田市有形文化財に指定した。また、他の遠山地区の文化財指定候補物件についても現地調査を実施した。 ・飯田市史跡「座光寺の石川除」について、長野県史跡申請し、長野県文化財保護審議会から指定の答申を受け、9/27指定告示がなされた。 ・飯田市天然記念物「遠山川の埋没林と埋没樹」について、長野県天然記念物指定への取組みを進めた結果、1/31に長野県文化財保護審議会へ県天然記念物への諮問がなされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠山郷の魅力の顕在化と情報発信を目指し、同地区の文化財指定候補物件について調査研究を進め、飯田市文化財に指定する。 ・飯田市文化財への指定申請のあった物件について、美術博物館の協力を得て調査検討を進め、飯田市文化財審議委員会に諮問する(中村の狛犬等)。 ・国、県指定等の候補物件についても調査・協議を進め、条件の整った段階で上位指定の申請を行う(遠山川の埋没林、麻績の里舞台桜等)。
25	恒川遺跡群保存活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡公園整備事業の用地取得を進めた。 ・清水エリアの基本設計に取り組んだ。恒川清水及び周辺の発掘調査報告書を刊行し、恒川清水の整備方法を検討するため史跡恒川官衙遺跡専門委員会を2回(12月・3月)に開催した。 ・伊那郡衙の正倉院の状況を把握するための発掘調査(98次調査)を実施した。 ・発掘現場の現地見学会の実施や情報紙「恒川ニュース」の発行など、史跡恒川官衙遺跡の情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業予定地の用地取得を引き続き進める。 ・清水エリア及び正倉院北側エリアの基本設計・実施設計を行う。史跡恒川官衙遺跡委員会による専門的見地からの検討や地域説明による意見聴取などを行う。 ・正倉院の状況把握のための発掘調査を進める。 ・発掘調査現場の現地見学会や情報紙の発行など史跡恒川官衙遺跡の情報発信に引き続き取り組む。
26	飯田古墳群保存活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会を3回(7月、11月、3月)開催し、史跡飯田古墳群保存活用計画の検討を行った。 ・長野県立歴史館の巡回展(7/13～8/2 伊那文化会館会場)において、史跡飯田古墳群の企画展を実施した。 ・史跡飯田古墳群に関わる範囲確認調査及び緊急発掘調査(御猿堂古墳、兼清塚古墳、御射山獅子塚古墳)の報告書を刊行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡飯田古墳群保存活用計画を策定し、同計画書を刊行する。 ・史跡飯田古墳群の、情報発信と地域づくりの資産としての活用を推進する。

課等の名称〔 飯田市歴史研究所 〕

【平成30年度の方針】

第4期中期計画に基づき、恒久的・継続的に地域の歴史等の資料を収集・保存するとともに調査研究して、その成果を教育事業や市誌編さん・出版活動といった多様な形で、現在及び未来の市民の皆さんに還元し、活力ある地域社会の創造とその持続を支援する

No.	事業名	H30年度の実施状況	H31年度に向けた計画・特記事項
1	歴史研究所管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度に鼎地区に移転。利用しやすい施設となるよう維持管理を実施 年間来所者数 288人(2月末時点)※29年度364人 	引き続き利用しやすい施設となるよう維持管理を実施
2	歴史研究所調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第16回飯田市地域史研究集会を開催(8/25-8/26) ・定例研究会 6回開催 ・大原薬局(本町)、今村家(座光寺)、吉澤家(喬木村)文書等の整理を行った。 ・旧山本村役場文書、旧龍江村役場文書調査 ・『年報16』を発刊(2月末)、『伊那谷の暮らしと住まい』(3月下旬発刊予定) ・研究助成事業 1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回飯田市地域史研究集会(9/7-9/8) ・定例研究会 ・年報17の発刊 ・大原薬局文書、旧龍江村役場文書などの整理を進める。
3	歴史研究所教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田アカデミアを開催(4回) 人々の息づかいが聞こえる労働運動史他 ・地域史講座を開催(5回)川路村の養蚕業に生きた人々の歴史 他 ・ゼミナール、ワークショップの開催(地域史(川路)、建築史、近現代、満洲、思想史WS、自分史WS) ・市民研究員、同候補(各1名新規) ・歴研ニュースを発行(年6回 隔月) ・ウェブサイト更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田アカデミアを開催(6月、11月ほか年4回程度) ・地域史講座(4月、11月ほか随時) ・歴研ニュース発行(隔月年6回) ・ウェブサイト更新 ・ゼミナール等の開催(近世史、地域史、建築史、近現代、満洲、思想史WS、自分史WS)
4	市誌編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> ・『飯田・下伊那の歴史と景観』(3月下旬発刊予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・史料翻刻等の次年度以降の発行に向けた準備

課等の名称〔 飯田市公民館 〕

【平成30年度の方針】

地育力向上と住民自治の意識と力を育む拠点として、地域の特色ある自然や文化を基底にした地域住民の学習と交流を図ります。少子高齢化や地域への帰属意識の希薄化など様々な地域の課題解決に向けた学習を支援することで、コミュニティ意識の醸成や地域の担い手づくりを目指します。適切な施設の貸館業務、施設設備の維持・管理、修繕改修等を行い環境整備に努めます。

No.	事業名	H30年度の実施状況	H31年度に向けた計画・特記事項
1	社会教育指導委員設置事業	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁の補助事業を受託し、外国人住民を対象とした日本語教室を市内2か所で実施し、成果発表会を開催した。 子育て世代の支援団体と連携し、講座の開催や情報誌の発行をし、子育てリーダーの育成を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体国際化協会の補助事業を受託し、外国人住民を対象とした日本語教室を開催する。特に日本語支援者の育成を進める。 人材サイクルの構築に向けて、高校と地域をむすぶ地域人材育成の取組を進める。(主に、飯田女子高等学校やその他の高校との連携)
2	公民館維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 21公民館の会議室等の貸し出し業務を行った。 空調設備、電気設備、消防設備等の施設設備の管理を行った。 破損故障等の修繕について、優先順位を定め対応しつつ緊急性のあるものは補正予算を組んで実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自由な学習活動や地域づくりを支える重要な拠点としての機能が果たせるよう施設の適切な維持管理、会議室等貸し出しを行う。 改築された上郷公民館の管理運営を行う。
3	南信濃学習交流センター維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 会議室等の貸し出し、施設修繕や設備点検等の適切な維持管理を行います。 図書分館としての機能を有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 南信濃地区にとって身近な施設として機能できるよう引き続き適切な管理を行う。
4	地域の乳幼児親子学習交流支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 全地区において、保健課(保健師)と連携した乳幼児学級を計画的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 全20地区で、保健課(保健師)と連携した乳幼児の親子を対象とした乳幼児学級を実施する。
5	地域の学齢期親子学習交流支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 各地区において、親子を対象とした農業や食をテーマとした体験学習、PTAと連携した家庭教育講演会を実施した。また、放課後や長期休みの学習支援にも取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で親子を対象とした体験学習やPTAと連携した家庭教育講演会等を実施する。 各地区のニーズや状況に応じて、放課後や長期休みの学習支援等を実施する。
6	地域の人権平和・多文化学習交流支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 各地区において、外国人住民との共生について考える多文化交流事業や日本語教室を実施した。 平和・人権、福祉に関わる学習会や講演会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で外国人住民と日本人支援者を対象とした日本語教室の開催や国際交流や多文化共生事業を実施する。 平和や人権にかかわる学習会を実施する。

7	地域の芸術文化学習交流支援事業	各地区において、 ・人形劇フェスタやふるさとコンサート等芸術に触れる機会を提供した。 ・獅子舞や太鼓等地域固有の伝統文化を継承する講座等を実施した。	・いいだ人形劇フェスタ2019に向けた各地区での取り組む。 ・文化祭やふるさとコンサート等文化交流事業を実施する。 ・伝統人形劇や獅子舞、太鼓等地域固有の伝統文化の保存継承のための講座の開催する。
8	地域の多様な学習交流支援事業	各地区において、 ・高齢者や女性を対象とした学級・講座を開催した。 ・各地区の特色を生かした交流事業を実施した。 ・地域課題に取り組むフォーラム・研究集会等を実施した。 ・成人対象者と各地区住民による実行委員体制で、成人式を実施した。	・各地区で高齢者や女性を対象とした学級・講座を実施する。 ・各地区の特色を生かした住民の主体的な交流事業や地域課題について考える研究集会等を実施する。 ・各地区の特徴を活かした成人式を実施し、事前の地域学習を通じて成人対象者と地域とをむすぶ事業を展開する。
9	郷土(地区)を学ぶ活動支援事業	・地域の歴史や文化を学ぶ講座やウォーキング事業等のふるさと学習を実施した。 ・地域の民俗資料や伝統人形劇等地域資源の保存継承活動の支援に取り組んだ。	・地域資源を活かした学びと交流を深める学級・講座、教材づくりの実施 ・地域資源の保存継承活動への支援する。
10	地域の健康学習交流支援事業	各地区において ・運動会やニュースポーツ大会等体育委員会事業として気軽にスポーツに親しむ交流の機会を提供した。 ・保健課やまちづくり委員会健康福祉委員会等々と連携した健康講座やウォーキング事業等を実施した。	・運動会や各種スポーツ大会等スポーツに親しむ機会の提供する。 ・保健課やまちづくり委員会健康福祉委員会等と連携した健康学習を実施する。
11	地域の環境学習交流支援事業	各地区において ・野鳥観察会など自然に触れる機会を提供する環境学習や農業体験を実施した。 ・里山や水辺など地域資源の保全活動を実施した。	・野鳥観察会など自然に触れる機会を提供する環境学習の実施する。 ・里山や水辺など地域資源の保全活動を実施する。
12	家庭教育推進事業(公民館)	・妊婦や乳幼児を対象とした子育てに関する講座を開催した。 ・トライアングルと連携して子育て世代に向けた情報誌の作成・配布をして情報提供をした。 ・各地区の子育てリーダーを対象とした情報交換会を開催した。	・妊婦や乳幼児を対象とした子育てに関する講座を開催する。 ・子育て世代に向けた情報誌の作成、配布による情報提供する。 ・リーダー育成のための情報交換会を開催する。
13	人権平和・多文化学習交流推進事業	・文化庁の補助事業を受託し、外国人住民を対象とした日本語教室を鼎、松尾地区で実施し、外国人住民と日本人住民の互いの学びあいの場を提供した。	・定期的な日本語教室や自治体国際化協会の補助事業を活用した日本語教育事業を通じた外国人住民と日本人住民の相互学習の場を提供する。特に、日本語教育支援者の育成に努める。

14	市民の学習交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の公民館活動を振り返り、役割を考える飯田市公民館大会を実施した。 ・市民の実行委員会による、市民大学講座やコーラスグループ発表会、女性バレーボール大会等市民の主体的な学習交流の場を提供した。 ・全地区で成人式を実行委員会形式で実施し、新成人の地域での学びの場を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座や各種発表会、大会等市民の実行委員会形式による主体的な学習交流事業を実施する。 ・全地区での成人式の実施する。(1/12) ・飯田市公民館大会の開催する。(2/16)
15	高校生等次世代育成事業(旧地域人教育支援推進事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田OIDE長姫高校との連携により地域人教育を実施し、高校生と地域を結び、探究的な学びをめざす取組を進めた。 ・高校生15名を対象としたカンボジア・スタディツアーを実施し、事前学習・現地学習・振り返り学習を通じて、ふるさとを学び、自身の生き方を考える講座を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田OIDE長姫高校との連携による地域人教育を実施する。 ・飯田女子高等学校との連携による地域人材育成プログラムを実施する。 ・その他の高校への展開についての検討を行う。 ・高校生講座カンボジア・スタディツアーを実施する。(10～6月) ・若者講座の開催による若者と地域をつなぐ機会を提供する。
16	公民館改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市公民館、県公民館のホール特定天井耐震診断業務を行った。 ・伊賀良公民館トイレ洋式化、飯田市公民館屋上防水工事等の改修工事を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市公民館、県公民館のホール天井耐震補強実施設計業務、県公民館ホール照明改修工事等を行う。 ・施設設備の老朽化が著しい公民館について、長寿命化計画の策定に取り組む。
17	勤労青少年ホーム運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日から敷地内の勤労青少年ホーム、勤労者体育センター、総合運動場に指定管理者制度を導入し、窓口時間の延長や自主事業の充実に取り組んだ。 ・勤労者体育センター第一体育館の雨漏り修繕を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度導入目的である、利用者のニーズに沿った施設管理、企画事業の実施、業務の効率化などを達成できるよう、指定管理者を連携をとりながら管理運営を行う。

課等の名称〔 文化会館 〕

【平成30年度の方針】

市民との協働による地育力の向上を目指し、「舞台芸術の鑑賞と創造」と「人形劇のまちづくり」を二つの柱として、市民が様々な芸術文化と出会う場と機会を提供するとともに市民の主体的な文化創造活動の展開を支援する。

No.	事業名	H30年度の実施状況	H31年度に向けた計画・特記事項
1	いいだ人形劇フェスタ開催事業	<p>■国内最大の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」を開催する。コンセプトは「みる 演じる ささえる わたしがつくるトライアングルステージ」。</p> <p>文化会館は事務局として実行委員会の活動を支援する。</p> <p>●いいだ人形劇フェスタ2018</p> <p>人形劇のまち40年を記念して世界人形劇フェスティバルを開催。海外18か国28劇団が参加。中学校区ごとに海外人形劇公演を実施し、事前学習や当日の交流など、飯田の子どもたちが多様な文化に触れたり、様々な地域の人と交流する機会を創出した。また、特別事業として、人形劇のまち40年を祝うメインセレモニー、人形劇のまち40年を振り返るシンポジウム、フェスタを支える若者等にスポットを当てた記念誌の発行などを実施。</p> <p>・開催期間:8月3日(金)～12日(日)10日間</p> <p>・参加劇団:410劇団/公演数631ステージ/入場者60,649人</p>	<p>■国内最大の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」を開催する。コンセプトは「みる 演じる ささえる わたしがつくるトライアングルステージ」。</p> <p>文化会館は事務局として実行委員会の活動を支援する。</p> <p>●いいだ人形劇フェスタ2019</p> <p>上演後に舞台裏や人形を見せてもらったり、劇について話し合ったり…。フェスタ2019では、様々な形での交流を大切にする。また、2018年のAVIAMA総会で交流のあった東アジアやヨーロッパの国々から劇団を招聘したり、人形劇を支援する国内の他地域との連携事業を行い、人形劇を通じたネットワークの形成に取り組む。</p> <p>・開催期間:7月31日(水)～8月5日(月)</p> <p>・開催場所:飯田市及び近隣町村の約140会場</p>
2	オーケストラと友に音楽祭開催事業	<p>■「市民とプロオーケストラとのコラボレーションにより、クラシック音楽を楽しみ、学び、子どもと市民と地域社会に広がっていく市民が創る音楽祭」を基本理念として実施。</p> <p>●開催日:2018年4月30日(月・休)</p> <p>5月3日(木・祝)～5日(土・祝)</p> <p><音楽を楽しむ></p> <p>・名フィル名曲コンサート 5月5日(土・祝)</p> <p>指揮者:円光寺雅彦(最後の参加となりました)</p> <p>・小学生のための音楽ひろば 4月30日(月・休)</p> <p>・そよ風☆コンサート 4月29日(日)～5月4日(金・祝)</p> <p>7会場12団体</p> <p>・コミュニティーコンサート 4月30日(月・休) 川路地区</p> <p>5月4日(金・祝) 平谷村</p> <p>・にこにこステージ音楽祭スペシャル 4月30日(月・休)</p> <p><音楽を学ぶ></p> <p>・音楽クリニック 3コース 3月3日(土)～5月3日(木・祝)</p> <p>・クリニックコンサート 5月4日(金・祝)</p> <p>・基礎コース 5月26日(日)、10月15日(日)</p> <p><10周年記念事業></p> <p>・オーケストラと友に音楽祭の将来ビジョンを策定した。</p> <p>・過去のクリニック受講生と名フィル講師による共演 125名が参加</p>	<p>■「市民とプロオーケストラとのコラボレーションにより、クラシック音楽を楽しみ、学び、子どもと市民と地域社会に広がっていく市民が創る音楽祭」を基本理念として実施。</p> <p>●開催日:2019年4月29日(月・祝)</p> <p>5月3日(金・祝)～5日(日・祝)</p> <p><音楽を楽しむ></p> <p>・名曲コンサート 5月5日(日・祝)</p> <p>名古屋フィルによるオーケストラコンサート</p> <p>指揮者:川瀬賢太郎さん(4月から名フィル正指揮者)</p> <p>ソリスト:上野星矢(フルート)</p> <p>・小学生のための音楽ひろば 4月29日(金・祝)</p> <p>オーケストラコンサート、楽器体験、ロビーコンサート</p> <p>・そよ風☆コンサート 4月28日(日)～5月4日(土・祝)</p> <p>7会場13団体</p> <p>飯田文化会館ホールのほか、郡内の店舗等で実施</p> <p>・コミュニティーコンサート 4月29日(月・祝) 売木村</p> <p>5月3日(金・祝) 千代地区</p> <p>地域へ出向いて開催する出張コンサート</p> <p>・にこにこステージ音楽祭スペシャル 4月29日(金・祝)</p> <p>0～2歳児とその親を対象にしたミニ・コンサート</p> <p><音楽を学ぶ></p> <p>・音楽クリニック 5コース 3月3日(日)～5月4日(土・祝)</p> <p>・クリニックコンサート 5月4日(土・祝)</p> <p>・基礎コース 5月26日(日)、10月13日(日)</p>

3	伊那谷文化芸術祭共催事業	<p>■飯田下伊那地域で活動しているアマチュア舞台芸術家が一堂に会して日頃の練習成果を発表し合うとともに、相互交流をはかることを目的に11月の4日間に開催。</p> <p>●実施日：11月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)</p> <p>会場：飯田文化会館ホール、飯田人形劇場</p> <p>出演団体数： 72団体</p> <p>出演人数： 1,363人</p> <p>入場者数： 5,599人</p> <p>運営従事者数：252人(文化協会役員、出演団体)</p>	<p>■飯田下伊那地域で活動しているアマチュア舞台芸術家が一堂に会して日頃の練習成果を発表し合うとともに、相互交流をはかることを目的に11月の4日間に開催。</p> <p>●今年には11月4日(月・祝)、10日(日)、17日(日)、24日(日)に、飯田文化会館ホールと飯田人形劇場で開催。</p> <p>3月15日～6月7日まで出演団体を募集している。</p>
4	舞台芸術鑑賞事業	<p>■市民が舞台芸術に親しむ機会によって、潤いのある心豊かな生活を営むための一助となることを願い実施。</p> <p>●コンサートア・ラ・カルト</p> <p>地域で活動している団体が出演するミニ・コンサートを開催。</p> <p>5月12日(日) フレッシュコンサート 158人</p> <p>9月 9日(日) 秋の彩コンサート 127人</p> <p>12月 9日(日) クリスマスコンサート 69人</p> <p>・ここにこステージ</p> <p>普段ホールで音楽を聴く機会の無い0～2歳児を対象にしたミニ・コンサート</p> <p>7月 4日(水) 94組 204人</p> <p>9月11日(火) 98組 208人</p> <p>12月21日(金) 104組 229人</p> <p>3月10日(日) 実施予定</p> <p>・歌舞伎事業</p> <p>300年余の歴史をもつ地芝居がある地域でありながら、鑑賞をする機会が少ないことから、地芝居を鑑賞し、学ぶ機会を設け、将来的には「松竹大歌舞伎」を招聘することを目指している。</p> <p>7月21日(土) 歌舞伎を知る「歌舞伎講座」 48人</p> <p>8月26日(日) 歌舞伎を知る「地芝居公演」 568人</p>	<p>■市民が舞台芸術に親しむ機会によって、潤いのある心豊かな生活を営むための一助となることを願い実施。</p> <p>●コンサートア・ラ・カルト</p> <p>地域で活動している団体が出演するミニ・コンサートで年に3回開催。</p> <p>5月26日(日) フレッシュコンサート (音楽大学等を卒業した新人等)</p> <p>9月8日(日) 秋の彩コンサート (地域に縁のあるプロ演奏家が出演)</p> <p>12月8日(日) クリスマスコンサート (シルクホテルロビーで開催)</p> <p>・ここにこステージ</p> <p>普段ホールで音楽を聴く機会の無い0～2歳児を対象にしたミニ・コンサート。</p> <p>年に4回(7月、9月、12月、3月)開催。</p> <p>・歌舞伎事業</p> <p>今年には待望の松竹大歌舞伎を9月18日(水)に、飯田文化会館ホールで開催。それに向けてプロによる講演会等を予定している。</p>
5	市民舞台芸術創造支援事業	<p>■補助金を交付することによって、講師を招聘しレベルアップを図る。一般公募により実施。</p> <p>●補助金交付：10事業(73団体 1,608人が受講予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア舞台芸術団体の連合体 タップダンス、クラシックバレエ、吹奏楽(一般) ・演劇(小中学生、一般)、合唱、高校生バンドポップス ・小学校・中学校・高等学校の学校間で連携した団体 飯伊小学校管楽器研究会、下伊那ジュニアバンド 下伊那地区高校吹奏楽合同バンド ・伊那谷文化芸術祭などで、学んだ成果を披露する。 	<p>■補助金を交付することによって、講師を招聘しレベルアップを図る。一般公募により実施。</p> <p>●アマチュア舞台芸術団体の連合体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タップダンス、クラシックバレエ、吹奏楽(一般)、演劇合唱、高校生バンドポップスなど ・小学校・中学校・高等学校の学校間で連携した団体 飯伊小学校管楽器研究会、下伊那地区高校吹奏楽合同バンドなど ・伊那谷文化芸術祭などで、学んだ成果を披露する。

6	小中学生音楽鑑賞事業	<p>■飯田市内の小学校の児童、中学校の生徒及びその関係者を対象に、一流の音楽家による演奏を、身近な施設(体育館等)で直接鑑賞する機会を提供することによって、児童や生徒の芸術鑑賞能力の向上へ寄与するとともにオーケストラ音楽の普及と振興に資することを目的として実施。</p> <p>●<試行的に実施> 実施日：2018年7月17日(火)～19日(木) 実施校：下久堅小学校、竜東中学校、竜丘小学校 浜井場小学校、緑ヶ丘中学校、追手町小学校 ※竜東中学校会場は竜東中学校、千栄小学校 千代小学校、上久堅小学校が合同で鑑賞 演奏者：名古屋フィルハーモニー交響楽団員 (弦楽四重奏、金管五重奏) 実施結果：鑑賞児童数1,672人、保護者54人 計1,727人 1人当たり500円を徴収 アンケートに回答いただいた児童等の98%は「鑑賞してよかった」、90%が「また鑑賞したい」と回答していることから、多くの児童等が音楽鑑賞事業に対して高評価をしている。</p>	<p>■昨年の実施結果をもとに、平成31年度も同様に小中学生音楽鑑賞事業を企画。児童・生徒が身近な会場で、一流の演奏に触れる機会として実施。</p> <p>●実施予定日：5月14日(火)～11月5日(火)のうち7日間 演奏者：名古屋フィルハーモニー交響楽団員 (弦楽、金管、木管の各アンサンブル) 実施校：3月末を目処に決定予定 鑑賞費：500円/人</p>
7	人形劇のまちづくり推進事業費	<p>■市民の人形劇活動への専門的支援を担う「いいだ人形劇センター」、人形劇に関わる多様な主体のネットワーク「人形劇のまち飯田運営協議会」の活動を支援することで「人形劇のまちづくり」を推進する。</p> <p>●いいだ人形劇センター及び「人形劇のまち飯田運営協議会」の活動を支援。また、人形劇関連図書及び資料の展示を開催した。</p>	<p>■市民の人形劇活動への専門的支援を担う「いいだ人形劇センター」、人形劇に関わる多様な主体のネットワーク「人形劇のまち飯田運営協議会」の活動を支援することで「人形劇のまちづくり」を推進する。</p> <p>●H31年度は、いいだ人形劇センター及び「人形劇のまち飯田運営協議会」の活動を支援に加え、前年度に完成した新とけい塔の管理を行う。</p>
8	人形劇公演事業費	<p>■いいだ人形劇フェスタ期間以外に市民が人形劇を鑑賞できる機会を提供する。</p> <p>●いいだ人形劇センターとの共催で行う人形劇公演として、地元劇団による定期公演7回、鑑賞事業7回、アウトリーチプログラム3回、他団体との共催公演3回を実施。小学校・保育園・認定こども園への巡回公演25回を実施。</p>	<p>■いいだ人形劇フェスタ期間以外に市民が人形劇を鑑賞できる機会を提供する。</p> <p>●いいだ人形劇センターとの共催で行う人形劇公演としては、地元劇団による定期公演、主に専門劇団を招聘して行う鑑賞事業、アウトリーチプログラム、他団体との共催公演を実施。巡回公演事業としては、小学校・保育園・認定こども園へ劇団を派遣して公演を実施する。</p>

9	人形劇創造支援事業費	<p>■市民が人形劇を演じることを楽しむようになるために、人形劇講座や市民劇団の活動支援等を行う。学校教育や保育活動に人形劇を取り入れられるように支援する。</p> <p>●いいた人形劇センターが行う創造支援事業として、初めての人対象の人形劇講座初級コース、地元劇団の新作制作を支援する中級コース、舞台に立つための基礎レッスンを実施。また、人形劇センタープロデュースにより、人形浄瑠璃の手法を活かした新作人形劇「ゆきをんな」の制作に着手した。また、学校や保育園等での人形劇活動を活発にするために、指導者の派遣と人形材料の購入支援を実施した。また、竹田の糸操りを継承するためのワークショップを開催。</p>	<p>■市民が人形劇を演じることを楽しむようになるための人形劇講座や活動支援等、小中学校や保育園で行われる人形劇活動への支援、そして新たに人形劇を観光や産業、教育、社会包摂等に活用する事業を行う。</p> <p>●いいた人形劇センターが行う創造支援事業として、人形劇講座初級コース・中級コース、基礎レッスン等を実施。また、人形劇センタープロデュース作品として「ゆきをんな」の制作及び「人魚姫」の再演に取り組む。学校や保育園等での人形劇活動への支援、竹田の糸操りを継承するためのワークショップを開催。また、H31年度から新たに、「地域社会に貢献する人形劇活用事業」として、人形劇を観光や学習活動に活用するためのプログラムを実施する。</p>
10	人形劇のまち国際化推進事業費	<p>■人形劇を核とした「小さな世界都市」に向けて、友好都市締結しているシャルルヴィル・メジュール市との更なる交流を図るとともに、AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)とのネットワークを強化することにより、市民に人形劇を通じた国際交流の機会を提供する。また、情報発信機能を強化し、人形劇のまち飯田を広く世界に紹介する。</p> <p>●アジア地域で初めて飯田市でAVIAMA総会が開催される。シャルルヴィル・メジュール市(フランス)との友好提携30周年記念事業を開催。</p>	<p>■人形劇を核とした「小さな世界都市」に向けて、友好都市締結しているシャルルヴィル・メジュール市との更なる交流を図るとともに、AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)とのネットワークを強化することにより、市民に人形劇を通じた国際交流の機会を提供する。また、情報発信機能を強化し、人形劇のまち飯田を広く世界に紹介する。</p> <p>●フランスのシャルルヴィル・メジュールで開催されるAVIAMA総会に参加する。また、H30年度新たにAVIAMAに加盟した南あわじ市との交流を実施する。</p>
11	伝統人形芝居振興事業費	<p>■今田人形、黒田人形のそれぞれの伝統人形芝居を保存伝承するため、また今田、黒田、早稲田(阿南町)、古田人形(箕輪町)の伊那谷4座が協働して研修や公演を行うための活動を支援する。</p> <p>●今田人形、黒田人形の活動に補助を行う。今田人形の館、黒田人形浄瑠璃伝承館の管理を指定管理で行う。伊那人形芝居保存協議会の活動を支援するため負担金を負担する。</p>	<p>■今田人形、黒田人形のそれぞれの伝統人形芝居を保存伝承するため、また今田、黒田、早稲田(阿南町)、古田人形(箕輪町)の伊那谷4座が協働して研修や公演を行うための活動を支援する。</p> <p>●今田人形、黒田人形の活動に補助を行う。今田人形の館、黒田人形浄瑠璃伝承館の管理を指定管理で行う。伊那人形芝居保存協議会の活動を支援するため負担金を負担する。</p>
12	文化会館等管理運営事業	<p>■老朽化の進む施設及び設備の修繕を随時実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に自動火災報知機及び人形劇場の非常照明設備を更新した。 <p>●新文化会館の整備方針については、教育委員会内での検討を進めたほか、必要な機能等について飯田文化協会に対し意見徴収を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は南信州広域連合が整備を検討しているアリーナ機能を中心とした複合施設との機能分担も考慮しながら、市公共施設マネジメント基本方針に基づき、市内ホール施設(文化会館、市公民館、鼎公民館)のあり方について、平成31年度末までに方針を決定する。 	<p>■施設及び設備の修繕実施(随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール客席天井耐震化工事実施設計を行う。 <p>●市公共施設マネジメント基本方針に基づき、市内ホール施設(文化会館、市公民館、鼎公民館)のあり方について、年度末までに方針を決定する。</p>

課等の名称〔中央図書館〕

【平成30年度の方針】

第3次図書館サービス計画に基づき、「暮らしと仕事と地域に役立つ図書館」「本と人、人と人が出会い、学びが広がる図書館」を目指して、市民が求める様々な資料や情報を提供するとともに、乳幼児から高齢者まで年代に応じた読書活動を推進する。

No.	事業名	H30年度の実施状況	H31年度に向けた計画・特記事項
1	図書館管理・運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館 外壁改修調査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館外壁の一部改修工事を実施予定。
2	図書購入・提供事業 (図書購入)	<ul style="list-style-type: none"> 市民からのリクエストを優先して購入。また多様化する読書要求に対応できるよう、選書会議で検討を行い蔵書の充実を図った。 工業、商業、農業などの分野の利用も増加しており、実用書を中心に選書した。 利用の増えている大活字本を、要望が多いと思われるものを選んで購入した。 郷土関連図書は新聞、書店等から情報収集し漏れなく収集することに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化・専門化する市民ニーズを把握し、飯田市に必要な図書を選択して収集する。 地域で発行される郷土図書・冊子について情報収集し漏れなく収集することを目指す。 郷土の先人、郷土に関わりのある人物の図書を積極的に収集する。
3	図書館事業 (はじめまして絵本事業)	<ul style="list-style-type: none"> 7カ月相談時に絵本の紹介、読みきかせ、絵本プレゼントを実施(市内全会場) 2歳児相談時に絵本の読みきかせ、わらべうた、絵本紹介を親子に実施(市内全会場) 職員の話の後で、絵本を親子で楽しんでもらうために全会場にお勧め本を整備し、声かけを進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続し、乳幼児の家庭読書を推進する。
4	図書館事業 (子どもの読書推進)	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園や小中学校と連携した児童サービスの方向性を探るため、保育園園長会や小中司書会等で、取り組みの状況や要望について聞き取りを行った。 各館定例のおはなし会を中心に、年間を通して絵本やおはなしを楽しむ機会を提供した。 学校からの依頼を受け飯田女子高校(7回)、下伊那農業高(1回)、飯田風越高校(2回)、飯田OIDE長姫高校(1回)を対象に読みきかせ講座を実施した。 読みきかせボランティアの会連絡会(2回)、研修会(2回)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園と連携し家庭まで本を届け、家庭読書の推進を図る。 学校図書館と連携を深めることで小・中学生の読書活動の推進に取り組む。
5	図書館事業 (資料提供)	<ul style="list-style-type: none"> 分館での予約推進、レファレンスや読書案内による図書・情報提供 「地域資源リスト」に基づいて各地区ごとに図書紹介リストを作成しホームページに掲載 南信州新聞(平成26年分)、郷土に関する録音テープをデジタル化 目の不自由な方への録音図書貸出、本を読みにくい児童へのマルチメディアデージーの貸出、録音図書制作ボランティア養成講座開催 県内図書館の高齢者サービスの事例収集 フェイスブックによる情報発信(図書館や本の紹介) 	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス(調べもの相談)の充実とPR 分館で地区の特色について調べられるよう、分館への郷土資料の図書配置を進める。 分館を含め市内どの図書館へも返却ができる仕組みの研究 本が読みにくい方への録音図書やデジタル図書のPR 本への興味を喚起するテーマ本の展示、本の紹介 図書館ホームページの「いいだの情報いいだの資料」への記事追加

6	図書館事業 (学びの機会提供)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田下伊那読書会交流会、文学連続講座5回、伊那谷地名講座3回を市民との協働で開催、文章講座、ウィキペディアタウンin飯田、県歌「信濃の国」講座、特別資料展「木と暮らす山と暮らす」を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学連続講座5回、伊那谷地名講座3回、文章講座5月～3月、飯田下伊那読書会交流会
7	図書館事業 (ビジネス支援サービス)	<ul style="list-style-type: none"> ・根羽村森林組合共催「ひとはこ図書館 本箱づくり」を開催。 ・飯田森林組合、飯田市林務課共催「林業展示」を開催。 ・市内農家グループ共催ブックカバーによる情報発信を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会、経済、産業分野の図書資料の収集と情報の提供。
8	図書館コンピュータシステム運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・南信州図書館ネットワークの円滑な運用のための5市町村(飯田市、松川町、高森町、喬木村、豊丘村)図書館によるネットワーク会議開催(2か月に一度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・他町村と連携を取りながら南信州図書館ネットワークの円滑な運用を行う。 ・中央図書館にセルフ貸出専用機を1台設置し、利用状況を調査する。

課等の名称〔 美術博物館 〕

【平成30年度の方針】

①伊那谷の自然と文化リニューアル事業の推進

平成31年夏期の博物の常設展示のリニューアルオープンに向けて企画・準備を進める。

②特別陳列「没後140年 原蓬山」「開山1300年 風越山」「世界人形劇フェスティバル記念 伊那谷の人形芝居と大森運夫」の成功
夏休み等を含む長期間の展示を予定しているためターゲットを明確にしなが展示や付属事業を行う。

③菱田春草記念室の常設展示の充実

全国唯一の春草常設展示施設としての役割と優位性を発揮できるよう作品、画業、人となりを展示紹介できるよう取り組む。

No.	事業名	H30年度の実施状況	H31年度に向けた計画・特記事項
1	美術博物館管理事業	○ほぼ、計画通りに取り組んだ。 ・自然と文化展示室のリニューアルに向けた改修を実施した。	○引き続き、自然と文化展示室のリニューアルに向けた整備等。
2	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	○ほぼ、計画通りに取り組んだ。 ・資料収集では、大森運夫筆「伊那谷の春」のほか、人文資料、自然資料の寄贈があった。	○例年並みの取組みを行う。
3	美術博物館展示公開事業	○ほぼ、計画通りに取り組んだ。 ・特別陳列「没後140年 原蓬山」:1,242人 ・特別陳列「開山1300年 風越山」:2,601人 ・特別陳列「世界人形劇フェスティバル記念 伊那谷の人形芝居と大森運夫」:4,336人 ・特別陳列「伊那谷Natureコレクション」:1,137人 ・菱田春草常設展示(第4期～第12期):12,512人(10期まで) ・丸山小学校、浜井場小学校、竜東中学校と連携した鑑賞学習を行い、その成果を展示した。 ・自然と文化展示室のリニューアルに向けた準備として、一部コンテンツや展示ケースの製作等を行った。	・菱田春草常設展示第12期～第20期の開催。 ・巡回展 長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学～時代を映す”匠”の技～」の開催。 ・特別陳列「塚原琢哉写真展遙かなる遠山郷～60年前の下栗とその民俗～」の開催。 ・コレクション展示「新収蔵品-丹阿彌岩吉と丹阿弥丹波子」「新収蔵品-天龍峽記と天龍峽十勝」等計9本の開催。 ・第20回記念「現代の創造展-南信州のアートを共に創る」の開催。 ・美博30周年記念事業の開催。 ・7月の自然と文化展示室のリニューアルオープンでは、コンテンツやトピックコーナーなどの充実を図る。 ・柳田國男、日夏耿之介など郷土の偉人の功績の紹介。
4	美術博物館教育普及・活動事業	○ほぼ、計画通りに取り組んだ。 ・第13回美博まつり(ワークショップ*20種):1,508人 ・講座等開催数141回、延べ参加者5,950人(2/27現在)	○例年並みの取組みを行う。
5	美術博物館プラネタリウム運営事業	○ほぼ、計画通りに取り組んだ。 ・オリジナル番組「南信州の花火」を制作した。(発表は3月23日) ・特別投影、天文講座、プラネタまつりを開催した。 ・飯田宇宙教育・宇宙留学サマーキャンプを支援した。 ・観覧者数:11,143人、投影回数:695回、ドームイベント:17回、天文宇宙教育回数:16回(2/27現在)	○例年並みの取組みを行う。 ○保健課が主管する9月の自殺予防週間に取り組む事業の一つプラネタリウムでの番組上映に対するの協力を行う。

6	考古博物館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ○事業はほぼ計画通りに取り組んだ。 ○3月末～5月にかけて外壁改修工事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度並み。 ○県立歴史館が行う巡回展の「長野県の考古学―時代を映す“匠”の技」を支援します。
7	上村山村文化資源保存伝承施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ○12月に指定管理者を変更した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理運営は前年度並み。 ○休止中の上村民俗資料館を解体する。
8	南信濃民芸等関係施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ほぼ、計画通りに取り組んだ。 ○7月～9月にかけて屋根防水改修工事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理運営は前年度並み。

「2019年度 飯伊地区社会教育委員連絡協議会総会及び研修会」について(たたき台)

- 1 趣旨(仮) 市町村の社会教育委員等を対象に、時代の変化に対応した委員の役割や今後のあり方等についての討議や意見交換など、社会教育を推進するための提言者としての研修を実施し、資質の向上を図る。
- 2 主催 飯伊地区社会教育委員連絡協議会
- 3 期日 (予定)2019年6月28日(金)
- 4 会場 (仮)上郷公民館
【住所：〒395-0003 飯田市上郷飯沼 3145-1 TEL0265-24-7744】
- 5 対象 飯伊地区市町村社会教育委員・教育委員会事務局員等
- 6 日程 (予定)10:10から15:30頃まで (受付開始 9:50)

9:50	10:10	10:50	12:00	12:50	13:20	13:30	13:40	15:30
受付	開会行事	総会	講義	昼食	情報交換会	閉会行事	移動	現地研修①
								現地研修②
								諸連絡

7 内容(仮)

- (1) 総会 開会行事 *開会の言葉・会長挨拶・来賓祝辞・議長選出
議事 *平成30年度事業並びに決算承認に関する件
*2019年度事業並びに予算の決定に関する件

- (2) 講義1 「 」
<講師> 氏
講義2 「 」
<講師> 氏

(3) 現地研修